

Rigaku Asia Pacific Pte. Ltd.の新 CEO に Adam Chong 氏が就任

X線分析・検査機器の世界的リーディングカンパニーである株式会社リガク（本社：東京都昭島市、以下「リガク」）のシンガポール法人、Rigaku Asia Pacific Pte. Ltd.（以下、RAPP）は、新社長兼最高経営責任者に Adam Chong 氏が就任したことを発表しました。Chong 氏の主な役割は、東南アジア、オセアニア、韓国、台湾、南アジアを含むアジア太平洋地域の市場をカバーする RAPP 社の事業拡大です。

Chong 氏は、サーモフィッシャーサイエンティフィック、ブルカーナノアナリティクス、オックスフォード・インストゥルメンツを含む様々な組織で、X線技術、科学機器、材料研究分野で20年以上の経験を積んでいます。リガク入社以前は、シンガポールを拠点とするサーモフィッシャーサイエンティフィックの地域コマーシャルディレクターを務めました。Chong 氏は、米国イリノイ工科大学シカゴ校で機械工学と経営管理の理学士号を取得しています。

株式会社リガクおよびリガク・ホールディングス株式会社の代表取締役社長である川上潤氏は、「Adam をリガクのチームに迎えることができ、嬉しく思います。彼は、アジア太平洋地域の分析機器事業で素晴らしい実績を残しています。彼は、この地域における事業の新たな戦略と組織を構築し、当社の成長を促進するための営業・マーケティング活動を実践するために、当社をリードしてくれるものと期待しています。」

Chong 氏は、「リガクのチームに参加し、新しい役割に就くことをとても嬉しく思います。私のキャリアにおいて最も情熱的な取り組みとは、お客様が直面する分析上の課題解決をサポートすることでした。リガクの幅広い分野で実証された分析ソリューションと専門知識を基に、同僚、ビジネスパートナー、お客様とともに新たな可能性を見出し、この地域におけるリガクの実在感を高めることを楽しみにしています。」とコメントしています。

\*\*\*

Rigaku Asia Pacific Pte. Ltd. (RAPP) について

リガク・ホールディングス株式会社が100%出資する RAPP は、南・東南アジア、オセアニア、韓国、台湾におけるリガク製品の販売およびアフターサービスを管理するために2015年に設立され、特に電子部品、電池、医薬品、セメント、石油化学分野でのお客様の分析課

題解決に貢献することに重点を置いています。本社所在地は、10 Anson Road, #15-14, International Plaza, Singapore です。

#### リガクについて

1951年の創業以来、株式会社リガクはX線と熱分析をコア技術に持ち、分析機器と工業用機器の最先端技術を提供してきました。今日、リガクグループは、国内のみならず、アメリカ・ヨーロッパ・中国を始めとした世界各地の拠点をベースに、X線回折（XRD）、薄膜分析（XRF、XRD、XRR）、蛍光X線分析（TXRF、EDXRF、WDXRF）、小角散乱分析（SAXS）、単結晶X線構造解析、ラマン分光分析、X線光学素子、半導体検査（TXRF、XRF、XRD、XRR）、X線発生装置、CTスキャン、非破壊検査、熱分析の各分野において先進的な役割を担っています。X線とその周辺技術の膨大な知見を強みとして、お客様との協業関係を築き、学会や産業界を通して、グローバルにパートナーシップ、コミュニケーション、イノベーションを促進してきました。創薬研究開発、新材料開発、材料分析、品質管理を含む多種多様な分野に向けて、統合的なソリューションを今後も提供してまいります。

詳しくは、[japan.rigaku.com/ja](http://japan.rigaku.com/ja)をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

リガク・ホールディングス株式会社 広報宣伝課課長：内匠優理香

[prad@rigaku.co.jp](mailto:prad@rigaku.co.jp)

TEL：042-545-8190